

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

《最終結果》

◆平成10年2月11日(祝) 第5日目(最終日)

日本実業団バスケットボール連盟

会場:駒沢体育館

【男子】

優勝	マツダアンフィニ所沢 (関東2位)	(2年連続2回目)
準優勝	東京海上 (関東1位)	
第3位	日本無線 (関東4位)	
	オーエスジー (東海1位)	

【女子】

優勝	富士銀行 (関東1位)	(初)
準優勝	日本興業銀行 (関東2位)	
第3位	広島銀行 (中国代表)	
	鶴屋百貨店 (九州代表)	

* 男子上位2チームは、バスケットボール日本リーグ機構の新会員として推薦します。
また、女子1位、2位の両チームには、今月2月27日、28日、3月2日に国立代々木第二体育館
において開催される平成9年度バスケットボール日本リーグ入替戦への出場権を与えます。

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

《決勝トーナメント組合わせ》

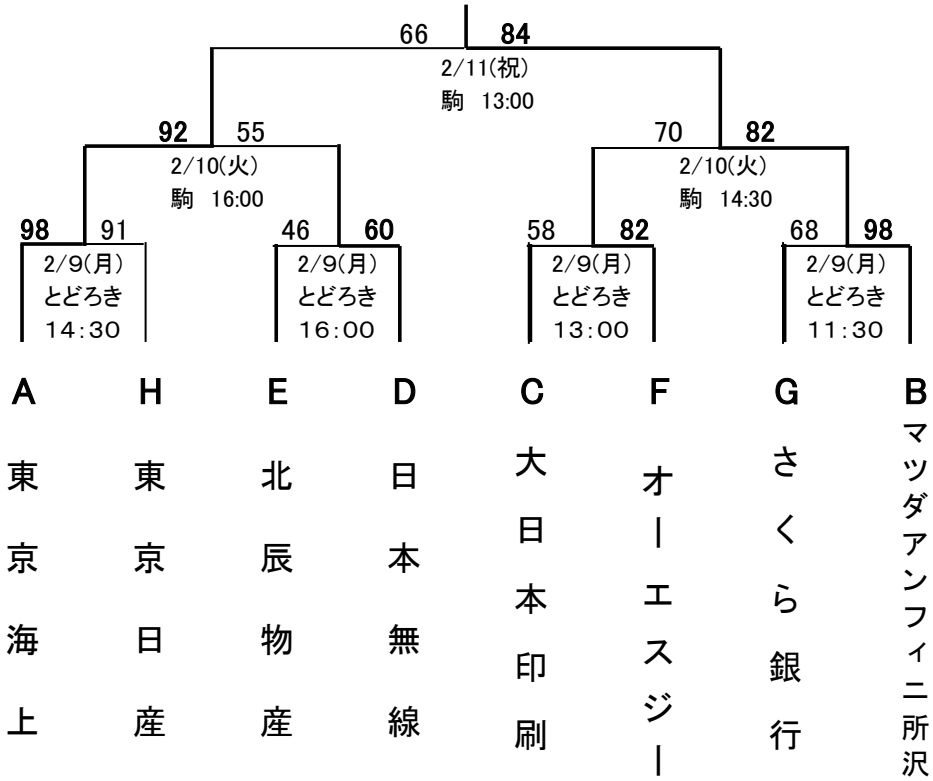
平成10年2月11日(祝) : 第5日目試合結果

日本実業団バスケットボール連盟

会場: 駒=駒沢体育館 とどろき=川崎市とどろきアリーナ

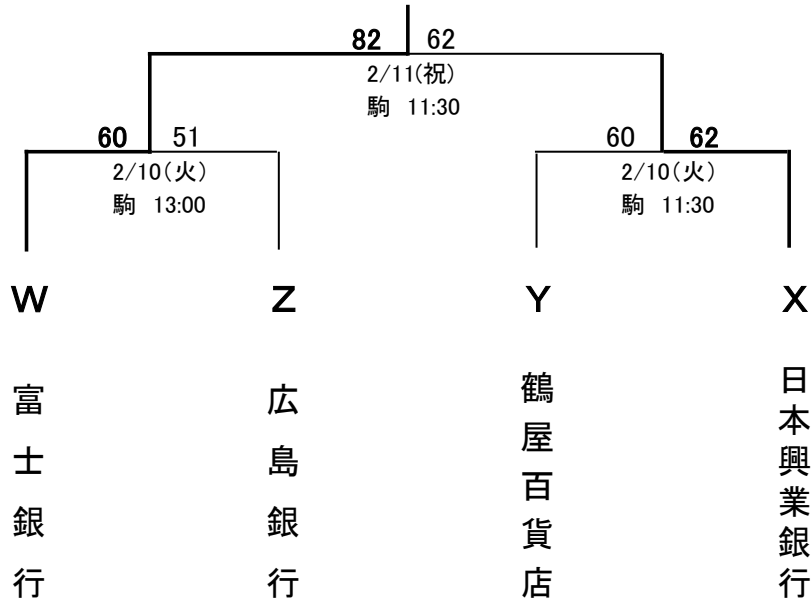
【 男 子 】

マツダアンフィニ所沢 (2年連続2回目)



【 女 子 】

富士銀行 (初)



第30回全日本実業団バスケットボール競技大会
決勝トーナメント

《 決 勝 》

◆平成10年2月11日(祝)

《第5日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:駒沢体育館

【 男 子 】

第二試合(主審:橋本 信雄、副審:木葉 一総)

マツダアンフィニ所沢 (84)	51 - 33	66	東京海上
	33 - 33		

〈戦評〉マツダアンフィニ所沢が詰め寄る東京海上を振り切り、2年連続2回目の頂点に立った。

関東1位の東京海上は出だし、同2位のアンフィニ所沢のゾーンディフェンスを攻めあぐみ、7分過ぎ13-4と差をつけられる。一方のアンフィニ所沢は、⑪スカーリーの3P、⑥沢田のカットインなどでリズム良く加点して、好調な滑り出し。海上は8分過ぎのタイムアウト後に、ようやくリズムを取り戻し、⑮アルバラードが立て続けにゴールを奪って、残り9分を切って22-22とタイに持ち込む。目が覚めたアンフィニ所沢はディフェンスリバウンドを堅取して、立て直しを図り、前半は51-33。

後半に入り、アンフィニ所沢リードのまま展開。10分を切って66-46と20点差がついた。

このままアンフィニリードのまま終焉を迎えるかにおもえたが、東京海上が、じわじわと追い上げて一時は9点差まで詰め寄った。最後はアンフィニ所沢は控えてベテランの④高橋、⑯鈴木らが踏ん張って、逃げ切り、84-66と19点差となった。

〈マツダアンフィニ所沢〉

No.		得点	3P	2P	FT	F
4	高橋 勉	4		1	2	1
5	北村 良					DNP
⑥	澤田 稔裕	4		2		1
⑦	小林 真也	4		2		0
8	藤井 正充	2		1		DNP
9	松野 哲也	2		1		2
⑩	大脇 秀隆	10		5		1
11	望月 崇生					DNP
⑫	チャールズ・ジョンソン	15	3	2	2	3
13	川松 一秀					DNP
14	テビン・ペインズ	2		1		2
15	小畠 敏治	3	1			0
16	鈴木 克彦	6		3		1
⑰	モーゼス・スカーリー	32	4	7	6	1
18						
19						
20						
21						
合計		84	8	25	10	12

〈東京海上〉

No.		得点	3P	2P	FT	F
4	野々上 邦浩	2			2	DNP
5	小泉 明彦					DNP
⑥	稲葉 志晃	4		2		1
7	伊藤 大輔					0
8	中田 実樹					DNP
⑨	入江 範昌	7	1	2		3
⑩	宮下 達也	5	1	1		2
11	貝瀬 政樹					1
12	池 卓実					DNP
13	堀井 幹也					0
14	魚井 達浩	3		1	1	2
⑮	ウィリアム・アルバラード	28	1	12	1	2
16	紙戸 大輔					0
17	八木 公彦	3	1			1
18	チャド・フォークナー	8		4		3
19	久永 信也					DNP
20	千秋 昌康					DNP
⑳	リッチモンド・マクアイバー	6		3		5
合計		66	4	25	4	20

NOTE: Noの○はスタートメンバー :3P(3ポイント) :2P(2ポイント) :FT(フリースロー) :F(ファウル)

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会
決勝トーナメント

《準決勝》

◆平成10年2月10日(火)

《第4日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:駒沢体育館

【男子】

■第3試合(主審:北島 和夫、副審:島田 剛次)

マツダアンフィニ所沢	(82)	35 - 39	70	オーエスジー
		47 - 31		

〈個人得点〉	①7 スカーリー	25	⑦ 西脇	21
	⑫ ジョンソン	20	⑤ 森西	14
	⑩大脇⑩鈴木	11	⑮ シッター	14

〈戦評〉 厳しい肉弾戦にアンフィニ勝ち残る

両チームとも3人ずつの外国人選手を抱え、JBL並みの激しい肉弾戦が繰り広げられたが、勝ち残ったのは経験が豊富なアンフィニであった。

前半にリズムをつかんだのはオーエスジー。⑮シッターや⑤森西の3Pシュートが良いタイミングで決まり、迫ってくるアンフィニを突き放すという試合展開で進んだ。

後半に入り、オーエスジーは大当たりの⑦西脇の連続3Pシュートなどで点差を開きに行くが、アンフィニも①7スカーリーの好リバウンドなどで点差を詰め、残り12分には

⑫ジョンソンの3Pシュートで逆転。じわじわと点差を広げ、厳しい戦いに決着をつけた。

オーエスジーは攻守の大黒柱である⑩バーキーが前半16分で4ファールとなり、残りの時間でほとんど活躍できなかった事が大きく響いた。

■第4試合(主審:内藤 吉文、副審:山下 光雄)

東京海上	(92)	44 - 25	55	日本無線
		48 - 30		

〈個人得点〉	⑮ アルバラート	27	⑭ 江川	22
	②1 マクアイバー	22	⑰ 林田	18
	⑨入江⑬堀井	10		

〈戦評〉 東京海上が日本無線を退け、2年ぶりに決勝に進出

2m級の外国人選手を擁する東京海上は、⑮アルバラート、②1マクアイバーのツインタワーを軸に展開。21マクアイバーがインサイドを固め、⑮アルバラートが3Pなどで10分24-13とリード。日本無線は外国人選手を持たない純血チームで挑んだが、東京海上にゴール下を制されて、苦戦。前半で44-25と19点差がついた。

後半に入って日本無線は、⑰林田を軸に⑭江川らが最後まで思い切りよく攻めたが、力の差は歴然。最後は92-55と大差がついた。

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会
決勝トーナメント

《準決勝》

◆平成10年2月10日(火) 《第4日目試合結果》 日本実業団バスケットボール連盟
会場: 駒沢体育館

【女子】

■第1試合(主審:山本 泰三、副審:川武 修)

日本興業銀行 (62) | 32 - 29 | 60 鶴屋百貨店
30 - 31

〈個人得点〉	⑥ 土井	18	④ 矢野	16
	④ 伊佐地	11	⑫ 桑原	16
	⑧ 増田	11	⑦ 村上	13

〈戦評〉 ぎりぎりの逆転で興業銀行が決勝へ！

鶴屋がゾーン、興銀がマンツーマンのディフェンスでスタートした。興銀が先行し、積極的な攻めと確実なシュートで5分には12対4、10分には22対8とリードした。

鶴屋はシュートミスに加えてオフェンスリバウンドが取れずに苦戦。しかし、中盤からは鶴屋の厳しいディフェンスに興銀が攻めきれず、32対29で前半を終了した。

後半も出だしは興銀好調も鶴屋⑥城本の2本の3Pシュートや④矢野のステップインなどで残り12分50秒についに逆転。そのままの勢いで一時は10点以上の点差が開いたが、残り5分頃から興銀が積極的なディフェンスから速攻を決め、残り1分には逆転に成功。薄氷の思いで決勝進出を決めた。

■第2試合(主審:中川 哲夫、副審:安川 正弘)

富士銀行 (60) | 36 - 32 | 51 広島銀行
24 - 19

〈個人得点〉	⑬ 松沢	12	⑦ 清水	16
	⑩ 前田	11	④ 八幡	14
	⑫ 大谷	9	⑩ 谷口	12

〈戦評〉中国代表の広島銀行は関東1位の富士銀行に挑んだが、粘り強いディフェンスが持ち味の富士銀行に最後は振り切られた

前半、オールコートゾーンプレスディフェンスの富士銀行に対し、広島銀行はハーフコートマンツーマン。先手を取ったのは広島銀行。⑦清水の3pなどで先行し、前半残り3分までリードを奪った。一方の富士銀行は5人をそっくり入替えをする戦法で、じわじわと詰め寄り、⑦合谷のインサイドで27-26と逆転。前半は36-32と富士銀行が4点差のリードで折り返した。

後半に入って、広島銀行はボールマンに対して、プレッシャーをかけ、富士銀行のミスを誘ったが、なかなか得点に結びつかない。それでも広島銀行は残り4分を切って⑦清水の遠目からの3pシュートが決まって、52-51と1点差に縮めたがそこまでが精一杯。最後は、富士銀行が落ち着いて得点を重ね、60-51。初の決勝進出を果たした。

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

予選リーグ

平成10年2月7日(土)

《第1日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:川崎市とどろきアリーナ=A. B. G. Hブロック
:駒沢体育館=W. X. Y. Zブロック

:川崎市体育館=C. D. E. Fブロック

【男子】

▲Aブロック

東京海上 ○ 111 | 51 - 32 | 57 ● 松下部品京都

東京トヨペット ○ 71 | 41 - 23 | 63 ● ニデック

松下部品京都 ● 72 | 33 - 49 | 87 ○ 東京トヨペット

ニデック ● 63 | 34 - 60 | 103 ○ 東京海上

▲Bブロック

マツダアンフィニ所沢 ○ 115 | 60 - 31 | 69 ● 三洋電機滋賀

アイシン・エイ・ダブリュ ● 78 | 40 - 43 | 86 ○ 加賀田組

三洋電機滋賀 ● 72 | 40 - 47 | 93 ○ アイシン・エイ・ダブリュ

加賀田組 ● 76 | 38 - 47 | 103 ○ マツダアンフィニ所沢

▲Cブロック

大日本印刷 ○ 78 | 46 - 26 | 53 ● 丸 紅

東北電力宮城 ○ 78 | 39 - 23 | 57 ● 昭和四日市石油

丸 紅 ● 50 | 30 - 33 | 68 ○ 東北電力宮城

昭和四日市石油 ● 56 | 29 - 46 | 102 ○ 大日本印刷

▲Dブロック

日本無線 ○ 98 | 50 - 24 | 45 ● 三菱化学水島

東海理化 ○ 60 | 34 - 23 | 56 ● 黒田電気

三菱化学水島 ● 51 | 25 - 33 | 85 ○ 東海理化

黒田電気 ● 55 | 26 - 35 | 56 ○ 日本無線

▲Eブロック

北陸電力 ○ 88 | 43 - 22 | 43 ● 清 菱

北辰物産 ○ 64 | 36 - 27 | 59 ● JR東日本秋田

▲Fブロック

オーエスジー ○ 101 | 64 - 19 | 62 ● NEC九州

東京三菱銀行 ● 63 | 25 - 39 | 70 ○ 蝶 理

▲Gブロック

さくら銀行 ○ 61 | 23 - 23 | 43 ● タツタ電線

宮田自動車 ○ 95 | 42 - 38 | 66 ● 協和発酵

▲Hブロック

東京日産 ○ 90 | 35 - 36 | 56 ● 三井海上火災

四国電力 ● 48 | 25 - 33 | 72 ○ 豊田合成

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

予選リーグ

平成10年2月7日(土)

《第1日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:川崎市とどろきアリーナ=A. B. C:川崎市体育館=C. D. E. Fブロック
:駒沢体育館=W. X. Y. Zブロック

【女子】

Wブロック

富士銀行 ○ 78 | 49 - 30 | 64 ● 荏原製作所
29 - 34

東北電力 ○ 60 | 34 - 29 | 40 ● 滋賀銀行
26 - 11

Xブロック

日本興業銀行 ○ 116 | 64 - 16 | 25 ● 東海理化
52 - 9

北國銀行 ● 58 | 29 - 35 | 65 ○ K T S
29 - 30

Yブロック

東京海上 ○ 66 | 29 - 18 | 37 ● 丸紅大阪
37 - 19

鶴屋百貨店 ○ 99 | 50 - 7 | 30 ● 豊田紡織
49 - 23

Zブロック

広島銀行 ○ 83 | 37 - 33 | 62 ● 大和証券
46 - 29

丸 紅 ○ 96 | 57 - 26 | 61 ● アイシン・エイ・ダブリュ
39 - 35

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間：平成10年2月7日(土)～2月11日(祝)

予選リーグ

平成10年2月8日(日)

《第2日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場：川崎市とどろきアリーナ=C. D. E. Fブロック

：川崎市体育館=A. B. G. Hブロック

：駒沢体育館=W. X. Y. Zブロック

【男子】

▲Aブロック

東京海上 ○ 96 | 47 - 32 | 54 ● 東京トヨペット
49 - 22

ニデック ○ 100 | 55 - 20 | 47 ● 松下部品京都
45 - 27

▲Cブロック

大日本印刷 ○ 70 | 36 - 32 | 50 ● 東北電力宮城
34 - 18

昭和四日市石油 ● 80 | 40 - 35 | 85 ○ 丸 紅
33 - 38
7 - 12

▲Eブロック

清 菱 ● 66 | 28 - 45 | 89 ○ 北辰物産
38 - 44

JR東日本秋田 ● 32 | 18 - 30 | 54 ○ 北陸電力
14 - 24

北陸電力 ● 68 | 28 - 29 | 77 ○ 北辰物産
40 - 48

JR東日本秋田 ○ 78 | 40 - 38 | 63 ● 清 菱
38 - 25

▲Gブロック

タツタ電線 ● 56 | 32 - 33 | 73 ○ 宮田自動車
24 - 40

協和発酵 ● 47 | 14 - 30 | 63 ○ さくら銀行
33 - 33

さくら銀行 ○ 72 | 44 - 31 | 49 ● 宮田自動車
28 - 18

協和発酵 ● 60 | 32 - 33 | 77 ○ タツタ電線
28 - 44

▲Bブロック

マツダアンフィニ所沢 ○ 102 | 48 - 36 | 69 ● アイシ・エイ・ダブリュ
54 - 33

加賀田組 ○ 84 | 40 - 35 | 66 ● 三洋電機滋賀
44 - 31

▲Dブロック

日本無線 ○ 76 | 43 - 33 | 68 ● 東海理化
33 - 35

黒田電気 ○ 64 | 34 - 15 | 29 ● 三菱化学水島
30 - 14

▲Fブロック

NEC九州 ● 73 | 38 - 46 | 98 ○ 東京三菱銀行
35 - 52

蝶 理 ● 44 | 15 - 51 | 94 ○ オーエスジー
29 - 43

オーエスジー ○ 85 | 49 - 37 | 61 ● 東京三菱銀行
36 - 24

蝶 理 ● 64 | 32 - 30 | 71 ○ NEC九州
32 - 41

▲Hブロック

三井海上火災 ● 56 | 24 - 40 | 78 ○ 四国電力
32 - 38

豊田合成 ● 75 | 37 - 34 | 86 ○ 東京日産
38 - 52

東京日産 ○ 63 | 28 - 23 | 47 ● 四国電力
35 - 24

豊田合成 ○ 77 | 38 - 30 | 71 ● 三井海上火災
39 - 41

《特記》

★男子は本日で予選リーグが終了し、各ブロックの1位チームが明日からの決勝トーナメントに進出します。

決勝トーナメント出場チーム

・Aブロック：

・Bブロック：マツダアンフィニ所沢

・Cブロック：大日本印刷

・Dブロック：

・Eブロック：北辰物産

・Fブロック：オーエスジー

・Gブロック：さくら銀行

・Hブロック：東京日産

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

予選リーグ

平成10年2月8日(日)

《第2日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:川崎市とどろきアリーナ=C. D. E. Fブロック :川崎市体育館=A. B. G. Hブロック

:駒沢体育館=W. X. Y. Zブロック

【女 子】

Wブロック

荏原製作所 ○ 58 | 20 - 26 | 53 ● 東北電力
38 - 27

滋賀銀行 ● 31 | 20 - 42 | 86 ○ 富士銀行
11 - 44

Xブロック

東海理化 ● 47 | 20 - 41 | 79 ○ 北國銀行
27 - 38

K T S ● 58 | 23 - 56 | 105 ○ 日本興業銀行
35 - 49

Yブロック

丸紅大阪 ● 35 | 10 - 38 | 91 ○ 鶴屋百貨店
25 - 53

豊田紡織 ● 48 | 24 - 22 | 64 ○ 東京海上
24 - 42

Zブロック

大和証券 ● 62 | 36 - 40 | 81 ○ 丸 紅
26 - 41

アイシン・エイ・ダブリュ ● 50 | 19 - 55 | 87 ○ 広島銀行
31 - 32

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

決勝トーナメント 1回戦

◆平成10年2月9日(月)

《第3日目試合結果》

会場:川崎市とどろきアリーナ

【男子】

■第1試合

マツダアンフィニ所沢	○	98	46 - 36	68 ●	さくら銀行
			52 - 32		

■第2試合

オーエスジー	○	82	44 - 30	58 ●	大日本印刷
			38 - 28		

■第3試合

東京海上	○	98	49 - 43	91 ●	東京日産
			49 - 48		

■第4試合

日本無線	○	60	35 - 26	46 ●	北辰物産
			25 - 20		

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

予選リーグ

平成10年2月9日(月)

《第3日目試合結果》

日本実業団バスケットボール連盟

会場:駒沢体育館=W. X. Y. Zブロック

【女 子】

Wブロック

富士銀行 ○ 93 | 53 - 20 | 44 ● 東北電力
40 - 24

滋賀銀行 ● 43 | 26 - 23 | 44 ○ 荏原製作所
17 - 21

Xブロック

日本興業銀行 ○ 101 | 51 - 21 | 50 ● 北國銀行
50 - 29

K T S ○ 82 | 43 - 17 | 46 ● 東海理化
39 - 29

Yブロック

東京海上 ● 58 | 29 - 28 | 60 ○ 鶴屋百貨店
29 - 32

豊田紡織 ○ 70 | 27 - 24 | 67 ● 丸紅大阪
22 - 25
7 - 7
14 - 11

Zブロック

広島銀行 ○ 93 | 46 - 35 | 46 ● 丸 紅
47 - 11

アイシン・エイ・ダブリュ ● 40 | 17 - 35 | 51 ○ 大和証券
23 - 16

《特記》

★女子は本日で予選リーグが終了して、各ブロックの1位チームが明日からの決勝トーナメントに進出します。

決勝トーナメント出場チーム

- ・Wブロック:富士銀行
- ・Xブロック:日本興業銀行
- ・Yブロック:鶴屋百貨店
- ・Zブロック:広島銀行

第30回全日本実業団バスケットボール競技大会

大会期間:平成10年2月7日(土)~2月11日(祝)

《予選リーグ 勝敗表》

平成10年2月9日(月) : 第3日目

日本実業団バスケットボール連盟

【男子】

Aブロック	海上	トヨ	ニデ	松下	勝	負	順位
東京海上(関東①)	○	○	○	○	3	0	1
東京トヨペット(関東⑨)	●	○	○	○	2	1	2
ニデック(東海④)	●	●	○	○	1	2	3
松下部品京都(近畿⑦)	●	●	●	○	0	3	4

Bブロック	マツダ	アイシ	加賀	三洋	勝	負	順位
マツダアンフィニ所沢(関東②)	○	○	○	○	3	0	1
アイシ・エイ・ダブリュ(東海③)	●	○	○	○	1	2	3
加賀田組(関東⑩)	●	○	○	○	2	1	2
三洋電機滋賀(近畿⑥)	●	●	○	○	0	3	4

Cブロック	大日	東北	昭和	丸紅	勝	負	順位
大日本印刷(関東③)	○	○	○	○	3	0	1
東北電力宮城(東北①)	●	○	○	○	2	1	2
昭和四日市石油(東海⑤)	●	●	○	○	0	3	4
丸紅(近畿⑤)	●	●	○	○	1	2	3

Dブロック	無線	東海	黒田	三菱	勝	負	順位
日本無線(関東④)	○	○	○	○	3	0	1
東海理化(東海②)	●	○	○	○	2	1	2
黒田電気(近畿①)	●	●	○	○	1	2	3
三菱化学水島(中国②)	●	●	○	○	0	3	4

Eブロック	北陸	北辰	JR	清菱	勝	負	順位
北陸電力(北陸)	○	○	○	○	2	1	2
北辰物産(関東⑧)	○	○	○	○	3	0	1
JR東日本秋田(東北②)	●	●	○	○	1	2	3
清菱(近畿④)	●	●	○	○	0	3	4

Fブロック	オー	三菱	蝶理	NEC	勝	負	順位
オーエスジー(東海①)	○	○	○	○	3	0	1
東京三菱銀行(関東⑦)	●	○	○	○	1	2	2
蝶理(近畿②)	●	○	○	○	1	2	3
NEC九州(九州)	●	○	○	○	1	2	4

Gブロック	さくら	宮田	協和	タツタ	勝	負	順位
さくら銀行(関東⑤)	○	○	○	○	3	0	1
宮田自動車(北海道)	●	○	○	○	2	1	2
協和発酵(中国①)	●	●	○	○	0	3	4
タツタ電線(近畿③)	●	●	○	○	1	2	3

Hブロック	日産	四国	豊田	三井	勝	負	順位
東京日産(関東⑥)	○	○	○	○	3	0	1
四国電力(四国)	●	○	○	○	1	2	3
豊田合成(東海⑥)	●	○	○	○	2	1	2
三井海上火災(関東⑪)	●	●	○	○	0	3	4

順位:勝敗が同じ場合は当該チーム間の成績による

【女子】

Wブロック	富士	東北	滋賀	荏原	勝	負	順位
富士銀行(関東①)	○	○	○	○	3	0	1
東北電力(東北)	●	○	○	○	1	2	3
滋賀銀行(近畿①)	●	●	○	○	0	3	4
荏原製作所(関東⑥)	●	○	○	○	2	1	2

Xブロック	興銀	北國	KTS	東海	勝	負	順位
日本興業銀行(関東②)	○	○	○	○	3	0	1
北國銀行(北陸)	●	○	○	○	1	2	3
KTS(近畿②)	●	○	○	○	2	1	2
東海理化(東海③)	●	●	○	○	0	3	4

Yブロック	海上	鶴屋	豊田	丸紅	勝	負	順位
東京海上(関東③)	○	○	○	○	2	1	2
鶴屋百貨店(九州)	○	○	○	○	3	0	1
豊田紡織(東海①)	●	●	○	○	1	2	3
丸紅大阪(近畿③)	●	●	○	○	0	3	4

Zブロック	広島	丸紅	アイシ	大和	勝	負	順位
広島銀行(中国)	○	○	○	○	3	0	1
丸紅(関東④)	●	○	○	○	2	1	2
アイシ・エイ・ダブリュ(東海②)	●	●	○	○	0	3	4
大和證券(関東⑤)	●	●	○	○	1	2	3

順位:勝敗が同じ場合は当該チーム間の成績による